

# 2019年度 経済学部ゼミ研究報告会 12月14日(土) 2号館1階・2階 タイムテーブル

タイムテーブル	イベント											
13:00~13:15	開会挨拶, 運営の説明(B101) ※開会時はB101に集合のこと											
	報告分野 と 会場											
13:15~13:20 各教室へ移動	B102教室・「雇用と労働/政策」			B103教室・「公共/地域経済」			B202教室・「産業/イノベーション」			B203教室・「世界経済」		
	報告者/テーマ	討論者	司会	報告者/テーマ	討論者	司会	報告者/テーマ	討論者	司会	報告者/テーマ	討論者	司会
13:25~13:42	安川 隆司① 就活ルール廃止と通年採用	結城①	小林	鈴木直(新井田智幸)③ 公平な税制について	結城⑥	小島	中村 豪① グリーンイノベーションについて	長岡②	安川 A	南原 真① 貧困がもたらす格差(東南アジアの事例)	羅③	長岡
13:45~14:02	尾崎 寛直② 日本における「最低賃金一律時給1500円以上」の是非	安川②		安川 隆司④ テレワーカー働き方の多様性	周①		長岡 貞男③ YouTubeによるイノベーション	鈴木直①		小島 健① EUの環境政策	南原③	
14:05~14:22	重田 雄樹① 企業の悪いニュースは株価を下落させるのか	安川③		結城 剛志② 消費税について	尾崎①		小島 健② 欧州における航空機産業	中村③		羅 歆鎮① 中国におけるフードデリバリー	南原④	
14:25~14:42	安川 隆司⑤ 時間外労働問題	鈴木直②	羅 A	鈴木 恒雄① 国分寺におけるデジタル通貨を考える	結城③	中村	松本 充弘① ゼミ探しサポートサイト「ゼミカツ」の立上げ	長岡④	南原	小林 健一③ リアルマドリッドの経営手法	羅⑦	周
14:45~15:02	長岡 貞男① シェアリングエコノミーのインパクト	安川⑥		羅 歆鎮⑤ ゴミ問題	小林②		小林 健一① アパレル過剰在庫問題とその解決について	中村④		南原 真② 日・韓の住居文化の違いから見える不動産情報	小島④	
15:05~15:22	安川 隆司② 女性の働き方	結城④		結城 剛志⑤ 年金について	羅⑥		中村 豪② どうすればAIを信頼してもらえるのか?	羅④		羅 歆鎮② タイの所得格差	南原①	
15:25~15:50	ポスターセッション B104、B105教室 重田 雄樹①企業の悪いニュースは株価を下落させるのか?、安田 宏樹①人口減少に関する要因分析、②最終学歴と幸福度に関する要因分析、③都道府県別の犯罪発生要因分析 ④都道府県別の宗教信者数と幸福度に関する分析、横川 太郎①日本の奨学金制度にみる金融排除の可能性について、計3ゼミ6チーム											
15:55~16:12	結城 剛志① 高齢者の問題点について	安川①	羅 B	周 牧之① 南砺市インバウンドに関するアンケート調査	鈴木直③	松本	長岡 貞男② 旅行産業のイノベーション	中村①	結城	小島 健④ フランスの観光産業	小島③	鈴木(恒)
16:15~16:32	安川 隆司③ 外国人労働者	尾崎②		雇用保障プログラム(JGP: Job uarantee Program)について	羅⑤		鈴木直(新井田智幸)① SNSと「共感」	長岡③		羅 歆鎮③ タイの経済開発	小島①	
16:35~16:52	鈴木直(新井田智幸)② 大学を無償化すべきか	重田①		結城 剛志③ 空き家問題	安川④		中村 豪③ イノベーションにおける格差の要因は何か?	小島②		南原 真③ 東南アジアと日本の働き方と教育の違いについて	羅①	
16:55~17:12	結城 剛志④ キャッシュレス化促進	安川⑤	鈴木(直)	尾崎 寛直① 新型出生前診断による「命の選別」の是非	鈴木恒①	安川 B	長岡 貞男④ 復興イノベーション	松本①	重田	羅 歆鎮⑦ タイに進出している日系企業	南原②	尾崎
17:15~17:32	安川 隆司⑥ 労働条件と離職	長岡①		小林 健一② SNSを使った地域活性化の提案	結城②		羅 歆鎮④ 海外スポーツ	中村②		南原 真④ ベトナムと日本の労働者	羅②	
17:35~17:52				羅 歆鎮⑥ インスタント食品:歴史と現状	結城⑤		中村 豪④ 日本国内においてイノベーションに携わる人材を増やすにはどうすればよいか?	小林①		小島 健③ EUにおけるポピュリズム—フランスを中心として—	小林③	
18:00~19:30	懇親会(葵陵会館1階食堂) ※参加無料											

## <共通了解事項>

- 報告者10分, 討論・質疑応答7分です。討論者は事前に報告者の資料を読み込み, 意見を用意すること。司会者は質問を積極的に喚起すること。確実に17分間は議論・討論に費やすこと。
- 討論者の準備のため, 報告者は必ず, 12月6日(金)までに資料を提出すること。資料が届き次第, 討論者に資料を送りますので, 疑問点や質問項目の準備に入ってください。
- 報告者のプレゼンは, 原則パワーポイントを使用すること。